

## バレーボールと私

泉 花織

私がバレーボールを始めたのは、姉の影響でした。姉は小学校四年生の時、千葉中央に入部しました。その時、私は三歳で何も知らない子でした。毎晩、ご飯もお風呂など姉と一緒にするのが楽しみだったのですが、姉は試合が近づくと夜遅くに帰ってきていつも一人で寂しそうでした。体も心も疲れた様子で私がふざけたりすると怖かったです。

姉は頑張り、六年生の時はスポ少長崎全国大会でベスト8という成績をとった様で、大変喜びうれしそうでした。そんなバレー一筋な姉を毎晩練習場所へ母と私は送迎し、姉の練習が終わるのを体育館のすみでボール遊びをしながら待つ生活が約二年半続きました。

やがて私も少学校に入学し、姉は高校生となり春高に出て日本一を目指すチームのキャプテンになったため、今度は家族で姉の応援に県外などに行く機会が増えてきました。姉の活躍が少しずつ分かってきました。姉がすごいなあと感じるのは、チームが負けたりし家に帰ってくると、責任を感じ自分を責めいつも悩んでいましたが、次の日のコートでは一転し負けている時も笑顔を忘れず、チームメイトと絆を大切にしながら大爆発している事です。私はそんな姉を尊敬するようになっていきました。キャプテンともなると役目が大変で、結果を出さなければならず真剣さが違う事に気がつくようになりました。観戦中とか、帰りの電車で母から

「お姉ちゃんね、千葉中央にいる時チームの目標に向い厳しい練習などに耐えたり、精神的トレーニングなどでチーム全員で頑張ったから今があるんだよ」といつも聞かされ、全部は理解できませんでしたが、経験が大切で一生懸命しないといけないという事だけはわかりました。姉の活躍を直接見たり、他の人からいろいろ聞かされているうちに不思議と「私も姉のようになりたい」と思うようになってしまい、母のすすめで三年生になる寸前で千葉中央に入部しました。

今はレギュラーともなり、練習が毎日ある厳しいですがいい仲間に出会えたり、トレーニングなどにより弱かった自分の体も強くなって、病気や怪我などをしなくなりました。ありがたいです。

四年生の時に先輩達に全国大会に二回連れて行ってもらい、良い経験をさせてもらい感謝しています。今は六年生となりチームをまとめる立場でキャプテンともなり、姉の様に今度は自分がみんなを引っ張って行き、全国、関東大会に行かねばと責任を感じて

います。

それが今までここまで私を支えてくれた方々へのお礼だと思っています。

そして、千葉県の為にも今後頑張りたいと思っています。

ありがとうございます。

以上